

I C T を活用した授業実践事例

学校名	加西市立加西中学校		実践日	平成29年6月5日（月）	
研究内容	(1) 各教科等の授業における効果的な I C T 利活用の実践		学年	1年	教科等 理科
単元名	身の回りの物質		I C T を活用した学習活動の説明	ガスバーナーの使い方の動画をみせ、手順を理解させる。	
主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他（ ））				
活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習		活用場面	<input checked="" type="checkbox"/> 導入 <input type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	

○成果（効果）等

教員	○動画を見ることで説明時間を短縮することができ、全生徒にわかりやすくガスバーナーの使用について指導できた。
児童生徒	○動画を見ることで、ガスバーナーの使い方についてのイメージをもってスムーズに操作することができた。共通理解ができるため、生徒同士のアドバイスも活発になった。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	篠山市立西紀中学校		実践日	平成29年7月5日（水）	
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践		学年	3年	教科等 理科
単元名	化学変化とイオン		I C T を活用した学習活動の説明	2種類の金属の組み合わせでの発電の実験を前時にを行い、本時で実験結果を生徒が発表し、教諭がすぐにExcelに打ち込んで結果の一覧を共有する。	
主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input checked="" type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input checked="" type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他（ ））				
活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input type="checkbox"/> 協働学習		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ	

○成果（効果）等

教員	○ソートや抽出機能を使って、必要なデータを選んで提示することができ、班活動から学級全体の活動へと広げることができた。データを残すことで、次学年以降が同じ実験を行ったときの考察材料にすることことができた。
児童生徒	○自分たちの班が行っていない実験結果を見ることができ、金属の組み合わせの考えの可能性を広げることができた。また、選んだ情報だけを見ることで、学級全体での考察がしやすくなつた。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	篠山市立西紀中学校	実践日	平成29年11月8日（水）
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践	学年	1年
		単元名	活きている地球
		I C T を活用した学習活動の説明	SKYMENUClassの発表ノートを使って、3本の地震波形を比べて地震のゆれと震源からの距離の関係について班で考察する。
		主な I C T 活用のねらい	<input checked="" type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input checked="" type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input checked="" type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input checked="" type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input type="checkbox"/> その他 ()
	画像を貼りつけたり書き込んだりして考察する	活用形態	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習
		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ

○成果（効果）等

教員	○課題解決に必要な画像を一斉送信することにより、印刷・配布・予備の用意が不要になった。画像を加工できるため、サイズを気にする必要もない。また、生徒の活動の進捗状況を一括で確認することができた。
児童生徒	○配布された画像を自由に加工（サイズ変更・トリミング・並べ替え）でき、また何度も意見の書き直しができるため、アウトプットの試行錯誤をしながら班で協力して課題解決に取り組むことができた。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	篠山市立西紀中学校	実践日	平成29年11月20日（月）
研究内容	(3) 児童生徒の情報活用能力を育成する授業実践	学年	3年
		単元名	エネルギー資源とその利用
		I C T を活用した学習活動の説明	発電所の誘致をするために、プレゼンテーションの資料を作成したり、必要な情報をインターネットを使って探す。
		主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示 <input type="checkbox"/> 動機付け <input type="checkbox"/> 教員の説明資料 <input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料 <input type="checkbox"/> 繰返しによる定着 <input type="checkbox"/> 体験の想起 <input type="checkbox"/> モデルの提示 <input type="checkbox"/> 失敗例の提示 <input type="checkbox"/> 比較 <input type="checkbox"/> 体験の代行 <input type="checkbox"/> 振り返り <input checked="" type="checkbox"/> その他（調べ学習）
	インターネットで追加情報を調べる	活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習 <input type="checkbox"/> 個別学習 <input checked="" type="checkbox"/> 協働学習
		活用場面	<input type="checkbox"/> 導入 <input checked="" type="checkbox"/> 展開 <input type="checkbox"/> まとめ

○成果（効果）等

教員	○SKYMENUClassの投票機能を使い、自分達以外のグループの発表内容に対し、説明に納得できたかどうかを「住民投票」という形で賛否を明らかにさせることができた。
児童生徒	○発表の手段として、どのように使うのか（ホワイトボード替わり、Power Point等のアプリの活用、タブレット端末を利用しないなど）を自分たちで考えることができた。また、事前に調べてきた内容で不十分だった場合は、インターネットで詳しく調べることができた。

I C T を活用した授業実践事例

学校名	姫路市立東光中学校		実践日	平成30年2月9日（金）
研究内容	(2) I C T の特性や強みを生かした「主体的・対話的で深い学び」の実践		学年	1年
			教科等	理科
単元名	光・音・力による現象			
I C T を活用した学習活動の説明	前時に実験した内容について、タブレット端末を用いてまとめ、プレゼンテーションを行う。			
主な I C T 活用のねらい	<input type="checkbox"/> 課題の提示		<input type="checkbox"/> 動機付け	
	<input type="checkbox"/> 教員の説明資料		<input checked="" type="checkbox"/> 学習者の説明資料	
	<input type="checkbox"/> 繰返しによる定着		<input checked="" type="checkbox"/> 体験の想起	
	<input type="checkbox"/> モデルの提示		<input type="checkbox"/> 失敗例の提示	
	<input checked="" type="checkbox"/> 比較		<input checked="" type="checkbox"/> 体験の代行	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返り		<input type="checkbox"/> その他（ ）	
活用形態	<input type="checkbox"/> 一斉学習	<input type="checkbox"/> 個別学習	<input checked="" type="checkbox"/> 協働学習	
活用場面	<input type="checkbox"/> 導入	<input checked="" type="checkbox"/> 展開	<input checked="" type="checkbox"/> まとめ	

○成果（効果）等

教員	○タブレット端末を使うことにより、いつもと異なる視点で、実験を行わせることができた。理科の学習で習ったことが、日常生活に結び付いていることを、理解させることができた。
児童生徒	○実験の動画を撮る時、どのようにすれば伝わりやすいか、また、発表する時、わかりやすい説明や図はどのようなものかを深く考えることができた。また、人に説明するためには、具体的に理解していないとできないことに気づくことができた。